

院長 南 卓男

最近医学の世界で画像診断ということがよく使われます。これは簡単にいえば人間の体内の状態を絵として表現し病気を診断する方法です。高血圧や糖尿病、精神病等の機能的な病気が画像診断の対象とはなりにく、一方、癌や出血、炎症など塊(かたまり)を作る病気が画像診断のよい対象となります。以前は画像診断といえばほとんどがX線を使っての検査のみでしたが最近では磁気、超音波、放射性同位元素などを使用して人間の体内の異常を絵として表現する方法が飛躍的に進歩しました。この放射線(X線)を利用した画像を診断する医師は放射線科医と呼ばれていましたが現在では正確には画像診断医です。それは放射線を使用しない検査が増加しているからです。

◆画像診断の種類

画像診断の手段としてはX線、磁気、超音波、放射性同位元素(ラジオアイソトープ)などがあります。X線や磁気を利用して得られた情報をコンピューター解析しCT画像やMRI画像として人間の体内の様子が手にしたように画像として表現されるようになりました。

◆X線を利用した画像

最も古くからある**単純X線撮影**はX線が体内を透過する性質を利用して生体を画像化したものです。骨折を診断する骨のX線撮影や肺結核や肺癌の診断に利用される胸部X線撮影があります。さらに造影剤(バリウム)を飲んで撮影する**上部消化管造影**や直腸から造影剤を注入する**注腸造影**は健診等に広く利用されています。

血管内に造影剤を注入する**血管造影**も全身の血管について造影検査が行われます。特に心臓の冠状動脈の検査は狭心症や心筋梗塞の治療の一手段として重用されており、また癌に流入する血管を造影しその血管より抗がん剤を注入したりその血管そのものを詰めて血流を止め、癌を壊死または兵糧攻めにする塞栓療法は重要な治療手段であります。

◆X線にコンピューター解析を組合わせた**X線CT画像**

昭和48年に開発され現在最も広く利用される画像診断方法であります。頭の前から足の先まで人間の体を輪切りにして細かく監察することができます。脳出血、脳梗塞など脳の病気、肺、肝臓、腎臓などの診断に必須の検査です。特に脳の診断に関して飛躍的な進歩をもたらしました。

◆磁力を利用した画像(MRI画像)

MRI検査は強い磁石と電磁波を使った検査です。生体に強力な磁場を加えそこに電磁波を送って生体の水素原子の反応を画像にするものです。X線CTと違って放射線をあびることがなく安全な検査です。したがって繰り返し何度でも検査ができます。ただし体にパー

スーマーや骨折治療の金属が入っている場合は検査ができません。CTは体を輪切りにする方向でしか撮影ができませんがMRIは縦、横、斜めとあらゆる断面からの撮影が可能です。撮影に時間がかかり(10-30分)その間じっと動かないようにする必要があります。MRIを利用して血管のみを撮影する方法もあり血管造影をしなくてもその病変を知ることができます。

◆超音波検査(エコー検査)

音波を当ててその跳ね返りを画像にしたものです。こだまや山彦を画像にしたものだと思えばいいと思います。音波探知機、魚群探知機と同じ原理です。医師の持っている聴診器は心音や呼吸音を聴くためのものですが超音波検査は音波を生体に当ててその跳ね返り(エコー)を見るもので現代の聴診器ともいえます。音波は空気よりも水の中でよく伝わります。そのため水分を多く含んだ臓器(心臓、肝臓、腎臓など)がよく見えます。しかも体に障害を与えることがないためじと当てておれば臓器の動きが観察できます。心臓の動き(心エコー)や、血流(ドップラー血流検査)の観察にすぐれています。空気中には音波の伝わりが悪く、空気の多い臓器(肺、腸など)の診断にはむいていません。診察室には必須の道具です。

◆核医学検査

放射性同位元素でラベルした物質を注射してその物質の集まりやすい病変部に集積させ特殊な装置(ガンマカメラなど)で検出し画像にする検査法です。シンチグラフィと呼ばれる。その特殊な形の検査として、SPECT(スペクト)、PET(ペット)があります。

◆サーモグラフィ

体表の温度差を色の違いにした画像がサーモグラフィとよばれます。血流障害のある下肢は温度が低く、この微妙な温度差を色の差として画像化したものです。

以上の様に最近の画像診断の進歩は、生体を色々な方法で色々な断面で微細に分析して病気の診断に役立っています。なお当院で使用されている画像診断は**太字**で記してあります。画像診断を希望される方は主治医にご相談ください。



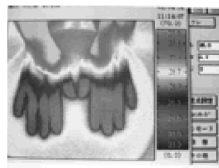
▲X線CT検査



▲エコー検査



▲MRI検査



▲サーモグラフィ検査画像



FUKUSHIMA INFORMATION 2009 WINTER

福島インフォメーション



地域に密着した良心的な医療を提供する事を使命としています。

■発行 医療法人永寿会 福島病院  
〒535-0012 大崎市旭区千林2-4-22  
TEL 06-6953-2940(代)  
FAX 06-6953-2918  
ホムペ: www.fukushima-hosp.or.jp  
http://www.fukushima-hosp.or.jp  
■発行日/平成21年12月

理念

24時間いつでも誰でも気軽に利用できる、

地域に密着したコンビニ型病院(皆様病院)をめざす。

基本方針

正確な診断に基づいて最適な医療機関での治療をめざす。

幅広い患者のニーズに細かく対応して、

患者だけでなく従業員自身も安心して知人や身内を紹介できる病院をめざす。

【広報係より】

今冬も福島病院インフォメーションの発行になりました。今回でなんと18号となります。(平成13年より年2回発行)年を増すごとに興味深い内容になっているでしょう…? 今回も盛りだくさん原稿がいっぱいです。特に内視鏡が新しくなった話題と、院長先生原稿は是非ご覧下さい。ではインフルエンザなんか負けず皆さん頑張ってください!

新入職員紹介

- 大路景子 (オオジケイコ) 看護師 H21年05月18日入社
- 森 香苗 (モリカナエ) 調理員 H21年07月09日入社
- 上野澄子 (ウエノスミコ) 看護助手 H21年09月01日入社

新入院・救急搬送患者数報告

新入院		救急搬送	
(H21.5月-H21.10月)		(H21.5月-H21.10月)	
平成21年			
05月	114名	05月	67名
06月	112名	06月	74名
07月	102名	07月	64名
08月	112名	08月	68名
09月	107名	09月	44名
10月	105名	10月	82名
合計	652名	合計	399名

診療時間帯	診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		内科診A	小林		小林	小林	
午前	内科診B			川畑(糖尿病)		高橋(糖尿病)	
	1診	森	池淵	池淵		池淵	森
	2診	南	南	高橋	森	南	高橋
午後	処置室	各医師	各医師	各医師	各医師	各医師	各医師
	3診	福島	福島		福島		
午後	内科診B			川畑(糖尿病)			
	1診			石川(循環器)			
	2診			町田		藤岡	
夜診	処置室	各医師	各医師	各医師	各医師	各医師	各医師
	3診	義肢・コルセット		各医師(整形)			
夜診	1診	高橋	森		小林		
	2診		南		池淵	藤岡	
	処置室	各医師	各医師		各医師	各医師	
	3診	福島	中井(整形)				

今回は薬剤科の紹介です。

～愛すべき職場～ 外来の受付の横に薬局があり、非常に活気あふれる科です。

当院薬剤科は常勤5名、非常勤2名、助手3名の女性のみ計10名で業務にあたっています。日々の業務としては、①外来業務 ②入院業務 ③透析患者さんのお薬調剤 ④患者さん・各部署へのお薬の情報提供 ⑤薬剤管理 ⑥各種勉強会への参加などがあります。 外来でお薬が出来るのをお待ち時の「遅いなあ、何でこんなに時間かかるの?」と思われることが多々あるかと思えます。そこで、皆さんに私達のお仕事の一つ「お薬をお渡しするまでの流れ」を簡単に紹介させていただきます。



まず、医事課が薬の内容をコンピューター入力すると、薬局内に処方箋(薬の内容が書かれた紙)が流れてきます。その処方箋を見て、①薬を取り揃えます。②次に人が変わって薬の内容・数などを確認し、薬袋に入れます。③次にまた人が変わってカルテの内容と処方箋の内容を確認し、お薬の説明書やお薬手帳を揃えます。④最後に投薬カウンターでもう一度患者さんと一緒に、内容・数量を確認しながらお渡しするというシステムになっています。お薬を間違いないでお渡しするには、このように二重三重のチェックが必要です。

狭い薬局内では皆が小走りに走り、スタッフの息がぴったりで、とてもスムーズに業務を行っています。傍から見ると全員が「マシーン」のように動いているように見えるようです。また、待合室が混んでいる際には、こちらから呼びかける声が届きにくいこともあり、声を張り上げて呼びかけをするようにしています。

そのせいか、普段の声も自然と大きくなっていくように感じています。


その大きな声に廊下を歩いている他部署の人達がびっくりすることもあります。



最後になりますが、患者さんが診察の最後に立ち寄る薬局では、「お待ちせしました、お大事に!」と声をかけた後「遅いなあ、ほんまに!」ではなく「福島はええ病院やわあ〜」と言って頂けるようにスタッフ全員で力を合わせて、これからも頑張っていきたいと思っています。

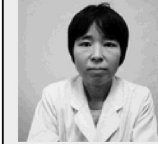


**管理栄養士 諸麦礼子**



私は食事を通じて患者さんのお役に立ちたくて、管理栄養士の仕事に就きました。学校で習ったことは実践では思い通りにはいかず、栄養指導では「分かっているんだけどね…」と言われる、食生活を変えていただくことの難しさを実感しました。患者さんの想いを考えずに、食べてよい物・控える物ばかりを一方向的にアドバイスしていた気がします。食事の面では採り良く美しい食事作りだけではなく、食欲のない方には一口だけでも食べていただくことや、誤嚥することのないようにと息を吐きながら試行錯誤した10年間でした。患者さんと接する機会は少ないのですが、お礼の手紙をいただくこともあり頑張ってきてよかったなと思います。職場の支えもあって迎えられた10年、患者さんの「ありがとう、美味しかったよ!」を励みに今後も頑張りたいと思います。

**管理栄養士 渡辺法子**



気が付けば勤続10年を迎えていた、というのが実感です。長かったような、あつという間だったような10年間でしたが、少しは管理栄養士として、また人として成長できたのかな?と振り返っている今日この頃です。本当に多くの気付きと実りを得ることができました。ありがとうございました。これまで得たことを生かし、スタッフとともに患者さんの健康サポートの一助となるように栄養指導、献立作成などの栄養管理業務に取り組みたいと思っております。今後も益々頑張っていく所存ですので、よろしく申し上げます。

**看護助手 富松加代子**



福島病院に勤務して早いもので10年が過ぎました。これも皆さんのおかげです! 勤続10年表彰を院長先生より手渡していただき緊張しましたが、反面嬉しい気持ちでいっぱいでした。九州より平成9年に上京し平成10年に入職させていただき、何も分からなくて不安な気持ちでしたが、皆様が優しく良い人達で一生懸命教えて下さったので無我夢中で付いて行きました。10年を過ぎてまだまだ迷惑をかけ申し訳ないです。患者さんから体が小さいのに大変ねえ、頑張っってねと励まされ、嬉しくてお礼を言ったこともありました。年齢ばかりで成長していない私ですが、今後ともよろしく申し上げます。

いろいろな食材から栄養をとろう!

～毎日の食事に「まごはやさしい」～

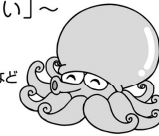
今回は**まご**な、魚介類を取り上げます。

魚介類の中には、魚類の他、貝類、甲殻類、魚卵などが含まれます。

●今回は「たごめし」をご紹介します。

「たご」には、良質なタンパク質と血圧やコレステロールを低下させたり、肝機能を強化する**タウリン**が多く含まれています。

また、味覚や嗅覚を正常に保ち、血行を促進する**亜鉛**も含まれます。脂肪分が少なく、低エネルギー食材です。



材料(4人分)

ゆでだこ	200g
生姜	1かけ(約14g)
米	2合
あれば三つ葉・(インゲン)	少々
調味料A	醤油 大さじ1と1/3 和風だし(顆粒) 小さじ1 みりん、酒 各大さじ1と1/3

～作り方～

- ゆでだこは、そぎざり。生姜は千切り、米はといでおく。
- 鍋にたご、Aの調味料、生姜の半分を入れざっと煮る。たごは鍋から取り出す。
- 炊飯器に米と2の煮汁を入れ、水を加えて2合の水加減にして炊く。
- 炊きあがったら2のたご、生姜の残りを加え約5分蒸らす。
- 器に盛り、あれば2～3cmの長さで切った三つ葉(インゲン)をちらして完成。

脳波検査 (Electroencephalogram ; EEG)

今回の生理機能検査の紹介は「脳波(EEG)」検査です。当院でも結構件数の多い検査です。 福島病院 臨床検査科

1.何を調べる検査ですか?

人間が生きて動いている限り、脳に限らず、心臓にしても筋肉にしても人間の体には何らかの電気活動があります。脳が働いている時の電気活動をとらえたものが脳波です。脳の神経の働きをみる検査です。

◆脳波検査が行われるケースについて

脳波検査は、主に●脳腫瘍●脳血管障害●脳炎●脳症などの脳疾患の可能性が検討される場合に脳波検査が実施されます。また、子供・小児・乳児の場合には●チック症●転倒などによる頭部外傷が見られる場合にも脳波検査が実施されます。

2.どんなことをするのですか

頭皮にたくさん電極をつけて、みなさんの脳の電気活動を電極からキャッチする検査です。その流れは以下ようになります。

- 1.頭部、耳・手に20数個の丸い電極を装着します。その際、脳波をきれいにキャッチできるように、装着部分にアルコールや消毒液で皮膚などを取り除き、クリームを塗ります。
- 2.ベッドにおやすみいただき、安静に閉眼している状態を30分以上記録していきます。その際、検査担当者よりいくつかの指示がありますので、その指示に従って検査を受けて下さい。

3.開閉眼試験

安静状態のまま検査担当者の声に合わせて眼を開けたり閉じたりして頂きます。この検査は眼を開けているときと閉じているときの脳波の違いを見る検査です。

4.過呼吸賦活法

同じく安静閉眼状態で、検査担当者の掛け声にあわせて、少し早めのリズムで深呼吸をしていただきます。過呼吸負荷によって、脳波にどのような変化があらわれるかを見る検査です。

5.光刺激賦活法

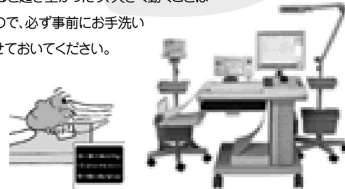
ストロボスコープの閃光を、目を閉じたみなさんの眼前15～30cmのところから点滅させます。光の刺激に反応した脳波の変化を見る検査です。

3.検査所要時間は?

通常の脳波検査は、電極装着などの準備を含めおよそ60～90分で終了します。

4.どんな注意が必要ですか

- 1.検査前日は頭皮・頭髮をできるだけきれいに洗ってください。(当日はボーマードや油、リキッド類はつけずにお越しください。微弱な電気活動をキャッチするため、油や垢があると、そのぶん拭き取りに力と時間がかかります。)
- 2.予約の時間枠いっぱいがある検査ですので、予約時間に遅れないようにおいてください。
- 3.検査が始まると起き上がったリ、大きく動くことは出来ませんので、必ず事前にお手洗いなどは済ませておいてください。



内視鏡新システムについて

～UCR(内視鏡用炭酸ガス送気装置)の導入～

内視鏡で胃や大腸の中を観察する際、通常今までは、空気を入れてお腹を膨らましていました。しかし、その空気が結構後々不快感を残すということを聞きます。それらの解消のため、空気の代わりに炭酸ガス(二酸化炭素)を入れる装置ができました。炭酸ガスは腸管からの吸収が早く、お腹の膨らんだ感じがあまりありません。副作用もほとんどないようです。(最近、よく腹腔鏡手術などに用いられています。)当院も内視鏡新システム導入に伴い、この装置も導入しました。

また、EVIS LUCERA上部消化管汎用ビデオスコープ(GIF-

H260)と経鼻用(GIF-XP260N)、下部消化管汎用ビデオスコープ(PCF-Q260A)も同時に導入しましたので、より高度で鮮明な画像を提供できると思います。

このシステムにはNBI(狭帯域光観察)というものが装備され、粘膜表層を高コントラストで観察でき、診断に重要な微細な模様をもとらえることが可能となりました。

